



# 公民館報

# くしもと

## No. 99

(2021/9/1)

編集・発行：教 育 課

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



## 表紙文化財紹介

こざじんじゃ

# 古座神社の

ぐんせいりん

# ウバメガシ群生林

町指定文化財 記念物（天然記念物）  
昭和49年3月1日指定

今月号の表紙は「古座神社のウバメガシ群生林」です。本殿へ向かう石段両側の山腹に樹齢50年から200年の約200株が群生しています。ウバメガシは和歌山県の木として指定されており、その材は密で硬く、備長炭の原料として古くから重宝されています。そのため、通常は20年から30年ほどで伐採されて古木の林となりませんが、ここでは神社の神域としてよく保存されています。

# 町民総合展開催 出品作品募集

今年も町教育委員会主催の町民総合展を開催します。

第17回目となるこの総合展は、串本町の文化・芸術の祭典であり、毎年様々なジャンルの工夫をこらした作品が多く出品され、鑑賞者を楽しませてくれています。また、今年は紀の国わかやま文化祭2021のイベントのひとつとして開催されます。

●紀の国わかやま文化祭2021  
和歌山県初開催である国内最大の文化の祭典です。10月30日から11月21日までの期間、県内各地で多彩な文化イベントが開催されます。

応募要項は次のとおりです。多くの出品とご協力をよろしくお願いいたします。

## 趣旨

町民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、美術作品の創作意欲を盛んにするとともに町の文化向上、発展に資する。

## 日程

11月12日(金)～14日(日)  
午前9時～午後4時30分

## 応募資格

- ①串本町に住所または本籍を置く人
- ②串本町に勤務する人、または在学する人
- ③串本町内のグループに所属する人

## 会場及び部門

町立体育館  
生花、盆栽、工芸、俳画、俳句、手芸、書ほか

町文化センター  
絵画、写真ほか

## 出品手続

- ①所定の出品申込書に記入の上、10月6日(水)午後5時までに教育課または町文化センターに申し込んでください。
- ②作品は原則として他の展覧会に出品したことのない自作品に限ります。



## 規格

- ①書は表装共高さ2.1m以内、幅は全紙までとします。
- ②絵画は100号以内とし、額装とします。(申込書に号数記入)
- ③立体作品(生花除く)は重量50kg

以下とし、間口、奥行き共1m以内とします。  
④生花は、間口、奥行き共1m以内とします。

⑤写真は、パネル張平面作品または額装とし、単写真は四つ切りから全紙まで、組写真は縦横1m以内とします。

⑥パッチワークは、1m以内とします。なお、大きい作品は折り畳んで展示します。

⑦会場汚損等他の展示作品の妨げとなる作品は除外します。

⑧その他主催者において不適当と認めるものは受け付けません。

## 点数

- ①原則1人2点以内(但し、部門別とし、俳句部門は1点とします)
- ②なお、展示スペースの都合により、1人当たりの作品点数が増減する場合があります。

## 搬入

○11月11日(木)午後1時から午後7時までの間に会場に搬入してください。

※原則として時間外の受付は行いません。当日都合の悪い場合は、前日に教育課までご持参ください。詳しくは、教育課にご相談ください。

## 搬出

11月14日(日)午後4時30分から会場より搬出してください。

## その他

- ①搬入作業は慎重に取り扱いますが、不慮の損傷についてはその責を負いません。
- ②陳列等については、主催者及び運営委員に一任してください。
- ③出品申込状況により、展示場所を変更する場合があります。
- ④規定の期日に搬出されない作品は、処分することがあります。
- ⑤搬入・搬出の際は、マスクの着用やソーシャルディスタンスを保つなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じてください。
- ⑥その他、運営上疑義が生じた場合は、運営委員会において協議の上決定します。



昨年度の町民総合展の様子

## 親子で作るモデルロケット打ち上げ体験会

7月25日に潮岬青少年の家で町子ども会連絡協議会主催の「親子で作るモデルロケット打ち上げ体験会」を開催しました。

参加者は町内小学生4～6年生16名とその家族で、県宇宙教育研究会の藤本郁久事務局長が講師を務め、藤本事務局長が顧問を務める県立桐蔭中学校科学部の部員がそのサポートを行いました。



使用したモデルロケットはアメリカ製の「アルファIII」で、A813エンジンを組み込んで高さ100mまで打ち上げ、パラシュートで着



地できるよう、子どもたちが一人一台のモデルロケットを家族や科学部員のサポートを受けながら組み上げました。

モデルロケットが完成した後、町民グラウンドに移動して打ち上げを行いました。イグナイザー（点火装置）は資格がないと操作できないため、有資格者の藤本事務局長による指導の下で操作し、小学生が自分の手で打ち上げて着地する様子を見届けました。

打ち上げたモデルロケットは記念に持ち帰って体験会は終了。風の影響で周囲の森などに落下して回収できなかった小学生には代わりのモデルロケットキットを配りました。



## 少年メッセージ2021

## 和歌山県大会

7月31日紀の川市の貴志川生涯学習センターにて、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催による「少年メッセージ2021和歌山県大会」が開催され、先に行われた東牟婁地方予選会で優秀賞を獲得した串本西中3年の増田歩那さんと串本中3年の藤野遥さんが東牟婁地方代表として出場しました。

この大会では、県内8地方の予選会で代表として選ばれた中学生18名が日頃考えていることをテーマに発表を行い、審査員の評価を受けました。

金賞には箕島中3年の楠瀬心美さんが選ばれ、串本町の2名は、増田さんが銅賞、藤野さんが入賞に選ばれました。



県大会に出場した  
藤野さん（左）と増田さん（右）

## 令和3年度 子供・若者育成支援県民大会

「育てよう！支えよう！見守ろう！和歌山の青少年」

日時 令和3年10月23日（土） 13:00～14:40（受付12:15）  
会場 串本町文化センター  
内容 ◆式典 「青少年健全育成知事感謝状」及び「県青少年育成協会会長表彰」等贈呈  
「子供・若者育成支援強調月間」に伴う知事メッセージ伝達式  
◆青少年による発表 「少年メッセージ2021」発表  
「県立串本古座高等学校CGS部による実践発表」

主催 和歌山県、和歌山県教育委員会、公益社団法人和歌山県青少年育成協会

【問い合わせ先】県環境生活部県民局 青少年・男女共同参画課 TEL.073-441-2502



# 第17回 串本町ゲートボール大会

7月15日ナンタンゲートボール場にて、第17回串本町ゲートボール大会を開催しました。

町内の6チーム（30名）が参加し、A・Bの2コートにわかれてリーグ戦形式で9試合行いました。

当日は曇り空でしたが暑い一日で、新型コロナウイルスだけでなく、熱中症にも十分に気をつけながら競技を行いました。  
なお、大会の結果は次のとおりです。

- 【優勝】和深Aチーム
- 【準優勝】和深Bチーム
- 【3位】目津チーム



3位：目津チーム



準優勝：和深Bチーム



優勝：和深Aチーム

## 串本青少年センターからのお知らせ 事務所が移転しました

串本青少年センターは8月2日に、町役場旧古座分庁舎内に移転しました。新しい住所と電話番号は次のとおりです。

### ○新住所

〒649-1412

串本町西向359

（旧古座分庁舎1階）

### ○電話番号（FAX兼用）

0735-16717150

## 巡回車が新しくなりました

センター職員が巡回活動に使用する巡回車が新しくなりました。外観は警察のパトカーと同様で、青色回転灯を装備したこの車は、青色防犯パトロールカー（通称・青パト）と呼ばれています。人目につきやすく、犯罪の抑止や子供の見守り活動に効果的であり、地域住民の防犯意識の高揚にもつながることから全国的に導入されています。



## 図書館より

## 新着図書を紹介

### 【一般図書】

#### ＊霸王の神殿

伊藤 潤

#### ＊田中家の三十二万石

岩井 三四二

#### ＊天使と悪魔のシネマ

小野寺 史宜

#### ＊階層樹海

椎名 誠

#### ＊太陽はひとりぼっち

鈴木 るりか

#### ＊その扉をたたく音

瀬尾 まいこ

### 【児童図書】

#### ＊語りかけ絵本 えだまめ

こが ようこ

#### ＊ポッポーきかんしゃ

とよたかずひこ

#### ＊パンダ オリンピックたいそう

いりやまさとし

#### ＊魔女のうらないグミ

草野 あきこ

#### ＊戦争にいったうま

いしい ゆみ  
他

# 稲荷山城跡

周知の埋蔵文化財包蔵地に認定

令和3年1月下旬に正法寺(中湊)裏山に発見された城跡が、7月30日に稲荷山城跡として埋蔵文化財包蔵地に認定されました。

稲荷山城跡は戦国時代の当地方の領主高川原氏の屋敷地があったとされる正法寺の裏山に位置することから、高川原氏に関する城跡であると推測されており、頂上部には曲輪や堀切といった遺構が確認されています。

埋蔵文化財包蔵地とは、石器・土器などの遺物が出土したり、貝塚・古墳・住居跡などの遺跡が土中に埋もれている土地のこと、そのことが地域社会で認識されている土地を「周知の埋蔵文化財包蔵地」と呼びます。この土地内で土木工事等を行う場合、文化財保護法の規定に基づき、事前に届け出等が必要となりますので、町教育委員会までお問い合わせください。

なお、周知の埋蔵文化財包蔵地所在地図については町教育委員会で確認できるほか、和歌山県地理情報システムにてWEB上で公開されています。



太線で囲まれた円内が周知の埋蔵文化財包蔵地に認定された場所

## 私の戦争体験記

串本町串本 奥護

一番鮮明に覚えているのは、昭和二十年五月高富区民のひじき刈りの日の出来事です。

区長さんのほら貝の合図で一斉にひじき刈りが始まりました。

私は錦富小学校の二年生でしたので、磯で一番高い、海に突き出た長島の先に立つて、母が波打ち際でひじきを刈っているのを見ていました。すると、突然目の前に黒い飛行機が飛んできたのです。海面すれすれに飛んでおり、十メートルも離れていない所で、飛行士の目と私の目が合いました。

そのとき機体にアメリカの旗がついているのが見えました。私はびっくりして浜の松林めがけて必死で駆け込みました。シュルシュルと音がして、松の陰に隠れるとパラパラと弾の当たる音がしました。グラマン戦闘機による機銃掃射でした。私の子どもだったのと、目と目が合ったので、わざと当たらないように弾を撃ってくれたのだと思います。

そのグラマン戦闘機は、袋港の造船所を偵察に来ていたのだと、後にわかりました。

五月二十三日の夜、B-29の焼夷弾による攻撃があり、地元の民家や製材所の一部、小学校の一部が被害に遭いました。私も防空壕に隠れましたが、それは父が裏庭の、大きな一抱えもある大島桜の根本に掘ったもので、春には白い花が一斉に咲くため、それが空の上から見えるのではないかと心配したのを覚えています。その後、裏山の北側に横穴の防空壕を掘りました。その穴は涼しいので私のお気に入り、よく昼寝に行っていたのですが、七月に艦砲射撃があったときは、その防空壕に避難しました。

私がついていた錦富小学校には兵隊さんが駐屯しており、機関銃が二台配備されていました。私は人懐っこかったため、兵隊さん達と仲良く

なり、休日には一緒に磯に行つて貝を採り、浜で焼いて食べたりしました。

終戦間際には、何日か山の杉林で、机代わりに杉皮を膝に乗せて勉強しました。それはとても楽しかったです。

さて、近くには戦前アメリカから引き揚げてきたという老夫婦が住んでいました。長男と次男はアメリカに残ったそうで、日本に帰国後、三男、長女、四男が生まれたそうです。四男は私より八歳上でしたが、近所なのでよく遊んでもらっていました。

戦後、その長男が初めて日本に両親に会いに来た際に私も会うことができました。軍服姿で、私にチョコレットをくれました。そしてB-29のパイロットをしていて、串本に爆弾を落とすよう命令されたけれども、パパとママがいたので、大阪まで行って爆弾を落としたのだと教えてくれました。また、アメリカに帰ったら除隊し、ヒヨコの鑑別士になるのだとも言っていました。

戦争当時、私はまだ子どもでしたが、これらのことは今でもよく覚えていま



## ケンケン漁に関する資料 の寄贈を受けました



寄贈を受けた資料の一部

今年の6月、ケンケン漁に関する漁具や工具、研究資料一式の寄贈を受けました。これらの資料は田並の故・雑賀徹也氏が生前の研究で収集したもので、家族の方から相談があり、寄贈を受けるに至りました。

寄贈を受けた資料は、潜行板や、飛行機、爆弾などと呼ばれる漁具や疑似餌、それらを作るための工具、研究資料やファイル（写真や新聞記事の切り抜き、ホームページの抜粋など）と未整理の文書などです。

ケンケン漁は疑似餌を引きながら舟を走らせ、魚をおびき寄せて釣り上げる一本釣り漁法で、田並が発祥の地であるといわれています。

## 田並とケンケン漁

串本町はかつて多くの方が出稼ぎを目的とした海外移住を行いました。田並も海外移民者が多い地区で、たくさんの方が海外で活躍しました。その中でも最も多い移民先がハワイでした。

明治28年に農業移民としてハワイに渡った矢部五郎吉は、1年間砂糖耕地で働いたあと、ハワイのヒロ市で日本式カツオ漁を始めました。矢部からハワイのカツオ漁が有望なことを聞いた中筋五郎吉は、長さ二十三尺（約6m90cm）、幅五尺八寸（約1m76cm）の漁船と漁具を持って、明治32年に田並からハワイへ渡りました。

中筋が来る前から日系人による漁業は行われていましたが、中筋の日本式漁船は、大きな生け簀を備えていました。この生け簀から活きのいい撒き餌をし、散水して大量に釣る日本式カツオ漁は、当時のハワイの漁業が発達していなかったこともあり、ハワイ人の約8倍の漁獲量をあげました。カツオの値段が暴落したためハワイ人の反感を買ひ、中筋の暗殺が計画されたこともありましたが、しかしその計画を事前に知らせて暗殺を阻止してくれたのも仲の良

いハワイ人漁師でした。

地元のハワイ人漁師たちと共栄共存を図り、互いに漁の手法を教えあうこともあり、そのなかで教えられたのが「ケンケン」という言葉はハワイのカナカ語で、イカによく似た疑似餌のことです。木片に白布を3枚ほど結んで釣り針を仕掛けた疑似餌のことを「ケンケン」と呼んでいました。

現地でも漁具や漁法の改良を続けていた中筋は、この「ケンケン」を鳥の羽根を用いたものに改良し、カツオ漁に取り入れてみたところ、大きな成果をあげました。

中筋の成功に刺激され、250人近くの人が大部分漁師になるためにハワイに渡りました。明治35年ごろから40年代にかけて、ハワイにおける漁船の5分の3は田並村出身者によって占められていたといわれています。

明治37年ごろに中筋に呼び寄せられた同郷のひとり小野七之助は、明治41年に中筋考案のハワイ型ケンケン船の図面とケンケン道具を持ち帰り、ケンケン漁は近隣の村々から田並漁師により全国に伝わっていきま



## 地域歴史資料収集整理事業について

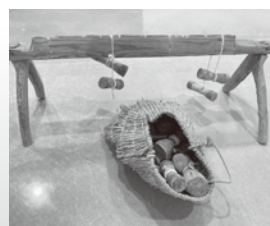
町教育委員会では、古い漁具や農具等の歴史民俗資料を後世に残したいと考え、収集・保存に向けた取り組みを行っています。

町民の皆様からの情報提供や、資料のご寄贈をお待ちしております。

※既に所蔵している資料等については、受入をお断りする場合もあります。事前にご連絡ください。

### 【お問い合わせ先】

串本町教育委員会 教育課 社会教育グループ  
TEL.0735-67-7260



# 灯台

特別寄稿

## 南紀への思い

日本女子大学人間社会学部教授

中西 裕二

現在は串本町と合併している古座町を私が初めて訪れてから、既に40年近くの時間が過ぎた。私も今年で還暦を迎え、時の経つ速さに本当に驚かされているこの頃である。あつという間の40年だったが、古座の風景や記憶が脳裏から消えたことは無い。

私が初めて古座町を訪れたのは昭和58（1983）年7月、河内祭りの見学であった。そのとき私は慶應義塾大学文学部の3年生で、その年の4月に東京大学を退職され客員教授として慶應に來られた吉田禎吾先生の3年ゼミ生だった。吉田先生のご専門は文化人類学で、その後、日本民族学会（現在の日本文化人類学会）の会長もされた、日本を代表する文化人類学者であった。文化人類学とは、文化を現場から理解しようという学問で、現在では一般的に使われる「フィールドワーク」という言葉は、現場から文化理解を試みる文化人類学の調査法から来ている。フィールドワークを重視した吉田先生は、ゼミ合宿として短いフィール

ドワークを学生に課すことにし、フィールドワークの現場となったのが河内祭りだった。ジリジリとした暑さの中、10人弱で御船を追いかけて古田の河原で祭りを見学していた。

翌昭和59年の夏、4年生になった私たちの学年は、ゼミの1年後輩の学年を連れ、再びフィールドワークを行った。学生は総勢24名、中湊の神保館に泊まりながら、5つのグループに分かれ河内祭りの参加5地区に学生が張り付く形で、祭りの調査が行われた。交通はやはり不便なので、私は家の車を出して古座に行ったと思うが、とにかく東京から遠かった。車で8時間以上かかったような気がする。神保館では、当時古座町議会議長をされていた神保欣一氏のはからいで安い値段で泊まらせていただき、現地調査では、古座区長の方森一夫氏、古座町教育委員会委員だった山出泰助氏からご指導を賜った。

河内祭りの現地調査は、昭和62（1987）年まで続いたが、我々の現地調査が終わった後も、慶應義塾大学にできた「フォークロアクラブ」という同好会により、フィールドワークは継続した。フォークロアクラブで古座に通っていた山田慎也君は、その後も民俗文化研究を進め、現在は千葉県佐倉市の国立歴史民

俗博物館の准教授のポストにいる。河内祭りは平成11（1999）年に「河内祭りの御船行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されたがこのきっかけを作ったのは山田君だった。

このように、この40年近くの間、古座の方々にはお世話になりっぱなしだった。本当に良くしていただき、ありがとうの一言では言い足りない気持ちである。皆さんの温かい方ばかりで、私たちが勝手にお邪魔しているのに、「遠いところよく来てくれたなあ」と声をかけていただいた。

僭越な言い方だが、古座は私にとってふるさとの一つになっているような気がする。ただ、この表現には少し補足が必要である。私の生まれは、神奈川県横浜市港北区という市の北部で、典型的な都会っ子だと言えるだろう。1961年生まれの私は、高度経済成長の真っ只中で幼少期から青年期を過ごしたが、そこを「ふるさと」と思う気持ちがあまり湧いてこない。なぜだろうか。小学校の時には、横浜市といっても、クラスには一人二人、家が農家という子がいたし、私は団地で生まれ育ったが、その周りには田んぼや畑、森があり、子供の頃はそこで遊び回っていた。しかし1970年代、そのような場所は開発によりあつとい

う間に消えてしまった。日本列島改造論が論じられていた時代である。本当に消えてしまい、住宅地になってしまったのである。

私が幼い時に遊んだ田んぼも、池も、森も消えてしまったし、その場は整地され昔の面影もない。私の記憶にある場とは異なる、異世界に変わってしまったのはショックだった。こんな経験をしたためだろうか、昔から変わらない場、変わらない生活というものの、憧れというのも変だが、そのような思いがあつたのだと思う。

この40年で古座へ串本のあたりも変化した。町中を歩くと、人が少ないのがよく分かる。ただ、河内祭りは、規模が小さくなったとは言え、古田の河原で続けられている。古座川の清流も以前のままだ。都市は変化することが求められるが、ふるさととは変わって欲しくない、というのが、ふるさとが消えてしまった私のささやかな望みである。だから古座は私のふるさとのような場所である。私が若かりし時にお世話になった神保さん、山出さん、方森さんは既に鬼籍に入り、私たちが古座を歩き回っていたことを覚えている人もわずかではないだろうか。ただ、古座は変わらず、美しい風景と温かい人々の暮らしが続いて欲しい。

# 第21回 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

**大会日時** 令和4年2月20日(日) 午前11時スタート

**場 所** 開始式 紀三井寺公園陸上競技場

コース スタート 紀三井寺公園陸上競技場

ゴール 和歌山県庁前

(10区間:合計21.1km)

**主 催** 和歌山県、和歌山県教育委員会、社団法人和歌山県体育協会

**対 象** 小学校5、6年生、中学校1、2、3年生

**チーム編成** 小学生男女各2名、中学生男女各3名

**申込締切** 令和3年9月6日(月)

**出場者  
募集!**



**お問合せ先** 串本町教育委員会  
教育課社会教育グループ  
TEL.0735-67-7260



昨年は7位入賞&市町村記録更新の大健闘

※新型コロナウイルス感染症を考慮し、  
大会が中止となる可能性があります。

教育課よりお知らせ

山青し 海青し 文化は輝く

和歌山県誕生150年  
**紀の国わかやま文化祭2021**  
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会

令和3年10月30日(土) ▶ 11月21日(日)

和歌山県内全域で開催

## 令和3年度 町民大運動会中止について

毎年秋のイベントとして、町民の皆さまにご参加いただいている町民大運動会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の開催は中止することになりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

